

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 栃木県宇都宮市
本事業の担当部局名 総合政策部女性活躍推進課

事業メニュー		結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分		重点メニュー					
関連事業メニュー		3.2.3 育児休業取得と家事・育児分担の促進					
個別事業名		男性の育児休業取得促進事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度 令和4年度
総事業費(A)(円)		310,002		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 310,002
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		310,002					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	310,002	0	0	0		310,002
	対象経費支出予定額	310,002	0	0	0		310,002
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市では、近年の合計特殊出生率が経年的に低下傾向にあり、緊急に少子化対策を講じる必要がある(参考:合計特殊出生率1.29(R4)、1.41(R3)、1.40(R2))。このため、「第2次 宮っこ 子育て・子育て応援プラン(後期計画)」(令和7年2月策定)に基づき、主に若い世代が、自らの主体的な選択により、結婚し、子どもを産み、育てたいと望んだ場合に、それぞれの希望や状況に応じて、社会全体で支えることができるよう、結婚から妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援の充実に取り組んでいく。 <本個別事業の位置付け> 男性の育児参加の促進については、「第2次 宮っこ 子育て・子育て応援プラン」の「基本目標Ⅱ 結婚・妊娠・出産や子育ての希望がかなえられる社会の実現、基本施策4 仕事と生活が調和した社会づくりの推進、(2)働き方の見直しや男性の積極的な家庭参画の促進」に位置付け取り組んでいるところであり、本個別事業は、企業の経営者等や男性従業員に対し、職場や家庭における固定的な性別役割分担意識を解消し、男性の家事・育児参画への意識向上を図るものである。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	男性ワークライフバランス講座	男性の育児参加を促進するため、仕事と家庭の両立を推進するワークライフバランス講座を実施する。 ア 対象 市内在住・在勤の父親など イ 講座数 1講座 ウ 参加予定人数 30人 [内容] ・ 幼い子を持つ父親のみならず、将来、父親となる独身男性も対象に男性の育児参加の重要性やメリット、育休中のタイムマネジメントを学ぶ講座を実施 ・ 育児に関する悩みの共有や、好事例の紹介を行うなど、参加する男性同士でのつながりを形成する交流会を開催				
	2						
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・男性の育児参加促進に向け、男性従業員向け講座を実施し、男性の育児参加の意識啓発を行ったきており、今後も引き続き、男性の育児参加、家庭と仕事の両立を図るための講座を実施する。						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望出生率		‰	1.72以上(R11年度)	1.49(R5年度)
	宇都宮で子育てをしていきたいと思う親の割合		%	100(R11年)	96.5(R5年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29(R4年)	
	婚姻件数		件	2,438(R4年)	
	婚姻率			4.4(R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	講座参加数	人	30(R8年度)	30人(R7年度見込み)
	②	募集定員数に対する参加者数の割合	%	80(R8年度)	100(R7年度見込み)
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	---
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				